

『第8回みどりと花の県民運動大会』に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 福井水源林整備事務所

福井水源林整備事務所は、平成30年6月3日(日)に福井県総合グリーンセンターで開催された『第8回みどりと花の県民運動大会』(主催:緑と花の県民運動推進委員会、福井県)に参加しました。

本イベントは第60回全国植樹祭(平成21年6月7日開催)を契機に展開している「みどりと花の県民運動」を推進することで、一般の方が広く参加し、森林や花に親しみ、その大切さを再認識することを目的としています。

本年秋に開催される国体・障スポに向けた「花いっぱい運動」のスタートとして、会場内は例年以上に草花で彩られました。



(事業の説明)

当事務所のブースでは、水源林造成事業に関するパネル展示等を行い、多くの参加者に水源林の果たす役割等を紹介し、水源林造成事業についてPRを行いました。

また、家族連れを中心に約200名の方に木製コースターの製作・絵付けの体験を通して、木の温もりを直にふれて楽しんで頂きました。



(木製コースターの制作・絵付けの様子)

昨年に引き続き森林に関するアンケートを実施したところ、「公的な関与による森林整備」に期待する意見が多くあるほか、「野生鳥獣による森林被害の増加」や本年1～2月に発生した大雪による森林被害の早期復旧を望む意見があるなど、水源林の重要性和森林への関心が一段と進んでいるように感じられました。

今後このようなイベント等の機会を利用して、より多くの方々に水源林の重要性や森林整備の必要性等理解を深めていただけるよう取り組んでまいります。